

## 安城市高齢者福祉・介護保険に関する調査

日頃は、市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

高齢者人口が増加する中、高齢者が健康で生きがいを持ち、また介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して安城市版地域包括ケアシステムを推進するため、本市では、令和2年度に「安城市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の改定を予定しています。改定に先立ち、皆様の日常生活の実態やご意見・ご要望を幅広くお聞きするため、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいの40～64歳の方の中から約2,000人を無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。回答は、全て統計的に処理いたします。回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはございません。また、ご回答の内容は計画策定の目的にのみ使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月

安城市長 神谷 学

### 記入にあたってのご注意

- 無記名のアンケートです。
- 鉛筆、シャープペンシルまたはボールペンでご記入ください。
- 封筒のあて名のご本人以外の方がお答えになる場合は、ご本人の立場で、ご本人の意思をくみとってご回答ください。
- 選択肢がある質問は、番号に○をつけてください。
- ご記入後、**12月17日（火）**までに、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください（切手は不要です）。

このアンケートについてのお問い合わせ先

安城市 福祉部 高齢福祉課 介護保険係 電話0566-71-2290

## I. 家族や住まいについて

問1 性別について、お答えください。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 年齢について、お答えください。(○は1つ)

※11月1日時点でお答えください

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 40～44歳 | 2. 45～49歳 | 3. 50～54歳 |
| 4. 55～59歳 | 5. 60～64歳 |           |

問3 お住まいの地区を中学校区で、お答えください。(○は1つ)

- |                |        |       |       |
|----------------|--------|-------|-------|
| 1. 東山          | 2. 安城北 | 3. 篠目 | 4. 安祥 |
| 5. 安城南         | 6. 安城西 | 7. 明祥 | 8. 桜井 |
| 9. わからない(町名: ) |        |       |       |

問4 あなたの世帯は次のどれですか。(○は1つ)

- |           |         |          |
|-----------|---------|----------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代世帯 |
| 4. 3世代世帯  | 5. その他  |          |

問5 現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. フルタイムで働いている | 2. パートタイムで働いている |
| 3. 働いていない      |                 |

問6 お住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 持家(一戸建て)                                     | 2. 持家(集合住宅)                                     |
| 3. 公営賃貸住宅<br><small>こうえいちんたいじゅうたく</small>       | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て)<br><small>みんかんちんたいじゅうたく</small> |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)<br><small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | 6. その他  |



問 10 今後、高齢者の支援や援助を目的とする、以下のようなボランティア活動・支え合い活動に参加したいですか。(あてはまるもの全てに○)

※現在活動していて、続けていきたいことにも○をつけてください。

1. 高齢者を訪問し、話し相手をする
2. ちょっとした日常生活の手伝い（ゴミ出し、掃除、草むしり、電球替など）
3. 買い物や通院など、外出の手伝い
4. 病院や福祉施設での手伝いや話し相手をする
5. 地域での高齢者の会食や憩いの場づくり
6. 日ごろの見守りや災害時の安否確認
7. 認知症についての啓発活動や認知症の方の見守り
8. 高齢者の健康づくりの支援活動
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 参加したくない

### Ⅲ. 医療・福祉について

問 11 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい      2. まあよい      3. あまりよくない
4. よくない

問 12 あなたには健康状態や病気のことを相談する身近な「かかりつけの医者、歯科医、薬局」がいますか。(それぞれ○は1つ)

① かかりつけの医者

1. いる      2. いない

② かかりつけの歯科医

1. いる      2. いない

③ かかりつけの薬局

1. いる      2. いない

問 1 3 かかりつけの医者・**歯科医**・**薬局**を選ぶ上で重要なことはどんなことですか。(〇は3つまで)

1. 自宅や勤務先から近い
2. 医師の診療技術や経験等が信頼できる
3. どんな病気のことでもまずは相談にのってもらえる
4. 病気や治療についてよく説明してくれる
5. 病歴や健康状態などをよく知っている
6. 治療の意向や心情、価値観に配慮してくれる
7. 外来に通えなくなった場合も定期的に医師が自宅に来て診察してくれる
8. 治療中の病状が急に悪化したとき、時間外でも電話等で相談に応じてくれる
9. その他 ( )

問 1 4 次のことについて、どの程度、ご存知ですか。(それぞれ〇は1つ)

① 地域包括支援センター

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

② 町内福祉委員会

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

③ 介護保険制度

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

④ 自宅での訪問診療・往診や訪問看護

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

⑤ “「介護休業」は、要介護者の家族が、今後の仕事と介護の両立に向けた準備期間（介護サービスを受けるまでの準備期間）としても活用できる”という考え方

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

## IV. 介護について

問 15 あなたのまわり(職場、親族、知人・友人)で、どのように仕事と介護の両立に取り組んでいるかをご存知ですか。(○は1つ)

1. どのように両立しているか、よく知っている
2. 聞いたことがあるが、どのように両立しているかは、よく知らない
3. 両立している人について、聞いたことがない

問 16 あなたは介護の経験がありますか。(○は1つ)

1. したことがある、または現在している → 問 17 へ  
(ヘルパーなど職業も含みます)
2. 手伝ったことがある → 問 17 へ
3. 特にない → 問 19 へ

※問 16 で「1.」および「2.」と回答した方にお聞きします。

問 17 どのようなときに、施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

1. 食べること(の介護)が難しくなったとき
2. 排せつ(の介護)が難しくなったとき
3. 室内の移動(の介護)が難しくなったとき
4. 高度な医療の処置が必要になったとき
5. 認知症等による問題行動が多くなったとき
6. 夜間の介護負担が大きくなったとき
7. (介護者が別居の場合) 介護者の通いの負担が大きくなったとき
8. その他 ( )

問 18 介護をした・手伝った際に、何か働き方についての調整等をしていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 特に行っていない、働いていなかった
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早退・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

※問 16 で「3.」と回答した方にお聞きします。

問 19 今後、自宅での介護に対してどのような不安がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 適切な介護の方法がわからない
2. 介護に時間がとられ、自分の時間がもてない
3. 仕事を辞めなければならない、仕事の日数や時間を制限しなくてはならない
4. 夜間の介護が大変そう
5. 相談先がわからない
6. どのようなサービスが利用できるかわからない
7. 一人で孤立してしまいそう (助けてくれる家族・親族・友人等が少ない)
8. 費用がたくさんかかりそう
9. 緊急の場合に病院や訪問看護で対応してもらえないかもしれない
10. その他 ( )
11. 特にない

※全ての方にお聞きします。

問 20 もしも、あなたが食事や排せつ(トイレ)、着替えなどに介護・介助が必要になった場合に、どのように介護をしてほしいとお考えですか。(○は1つ)

1. 自宅で、家族などを中心に介護してほしい
2. 自宅で、外部の介護・生活支援サービス (ホームヘルプや見守り・配食等) を活用しながら介護してほしい
3. 高齢者向けの住宅 (有料老人ホーム等) で、外部の介護・生活支援サービス (ホームヘルプや見守り・配食等) を活用しながら介護してほしい
4. 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所・入居して、施設の職員に介護してほしい
5. その他 (具体的に: )



問 2 4 看取りに関することについてお聞きします。(それぞれ○は1つ)

① あなたは、人生の最終段階における医療・福祉・介護について、これまでに考えたことがありますか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

② あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、愛称：人生会議）について、知っていますか。

- |            |             |           |
|------------|-------------|-----------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 全く知らない |
|------------|-------------|-----------|

③ 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング）が重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. 賛成 | 2. 反対 | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

④ 人生の最終段階において、受けたい医療・福祉・介護、受けたくない医療・福祉・介護について、ご家族等や医療介護関係者と話し合ったことはありますか。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 詳しく話し合ったことがある | 2. 一応、話し合ったことはある |
| 3. 全く話し合ったことがない  |                  |

問25 これからの高齢社会に対応するため、市はどのようなことに力をいれるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 高齢者のための医療の充実
2. 在宅の高齢者の家族に対する支援
3. 地域の見守り体制（安否確認等）の整備
4. 施設での介護を望む高齢者のための入所施設の充実
5. 認知症の人が地域で暮らす支援体制の充実
6. 介護予防のための健康づくり対策の充実
7. 高齢者の生きがい就労の推進
8. ひとり暮らし高齢者対策の充実
9. 高齢者自身や家族が気軽に相談できる窓口の充実
10. 趣味や学習、スポーツなどの生きがい活動に取り組める環境の整備
11. 道路や建物の段差解消などのまちづくり対策
12. あんくるバスの運行など高齢者の交通手段の充実
13. 高齢者の生活を支援するボランティアの育成
14. 高齢者が安心して暮らせる住宅などの整備
15. 介護施設で働く人材の確保
16. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

■ 高齢者福祉・介護保険などについて、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

12月17日までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。